編集後記

今月から、安田尚先生の「ピエール・ブルデューの『実践感覚』を読む」の連載が始まります。ブルデューはフランスの社会学者で今年一月になくなりました（本誌二八頁注1参照）。この連載では、〝ブルデュー社会学の平易な解説―とくにその方法と基本概念を中心に―〟をご一緒に学んでみたいと思います。

＊

金田利子先生の「育てられている時代に育てることを学ぶ」は今回が最終回です。前回の記事を読んでいて、赤ちゃんの人を引き付ける力に改めて感心しました。

ちょうどその頃、新聞に、神奈川県の産婦人科医会が高校生向けに開いた「赤ちゃんふれあい体験」に参加した高校生の投稿がありました。沐浴指導などで実際に赤ちゃんとふれあったことで、母と子のきずなの強さとその神秘的な関係の素晴らしさ、命を育てる大変さと責任、赤ちゃんを恵まれた環境で育てることの大切さ、を実感できたそうです。

これを読んでいて、昨年の九月に聞いた、メアリー・ゴードンさんの講演を思い出しました。ゴードンさんはカナダで共感教育を試みている人で、〝赤ちゃんが教室にやってくる〟ということを最初に試みた人です。その実践では、人が生来もっている共感性が赤ちゃんに助けられて引き出されていました。

どちらの体験からも、赤ちゃんの力の偉大さを感じました。（A）

幼児の教育

第一〇一巻 第七号
（二〇〇二年七月号）
定価五五〇円（本体五二四円）

発行 平成十四年七月一日
編集兼発行人 田代和美
発行所 日本幼稚園協会
〒112―8610 東京都文京区大塚二―一―一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
印刷所 図書印刷株式会社
〒108―8620 東京都港区三田五―二―一
発売所 株式会社 フレーベル館
〒113―8611 東京都文京区本駒込
六―一四―九
☎〇三―五三九五―六六一三（営業）
☎〇三―五三九五―六六〇四（編集）
振替 〇〇一九〇―二―一九六四〇

☆ 本誌ご購読のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。